

ハイライト

夢とロマンの地へ

No.253
Mar. 2026



宣教レポート

近況&祈禱課題

インフォメーション





僕には家がないから

インドネシア 高橋央也・恵



昨年、「ジャカルタに植えられた教会として、この地の祝福となる」という願いをもってスタートし、主はアンテオケ宣教会と協力関係を結ぶ「パスンダンキリスト教会」が運営する児童福祉施設での日本語教育へと導かれました。

ある日の授業のことです。テキストに沿って「自分の家のレイアウトを書く」という宿題を出しました。翌週、宿題をしてこなかった男子学生に「宿題する時間がなかった？」と尋ねました。すると彼はこう答えたのです。「僕には家がないから。」その言葉に私たち夫婦はハッとさせられました。知っていたはずの彼らの現実を、改めて思わされたからです。経済的理由で学校に行くことができないため施設に預けられています。

インドネシアでは彼らと同じ年代のおよそ3割が、16～22歳では約半数が結婚します。理由の一つが家計の負担軽減

です。しかも、インドネシアは夫婦の宗教が同じでなければ結婚が認められない法律があるため、結婚を通してイスラム教徒へ改宗するケースが後を絶ちません。神様が定めた結婚にも関わらず、巧妙に敵は経済的安定を利用し、霊的なせめぎ合いの手段としている事実があるのです。JJCFも私たち夫婦も、子供たちが、「家に住まわせてくださる神様」を見出すことができるようにと祈りつつ、日本語教育を続けています。年末、彼らを JJCF のクリスマス会に招きました。経済的状況が全く違うので心配の声もありましたが、共に食事をし、彼らが堂々と舞台上で賛美する姿は、私たちにとって励みでもあり、「この地の祝福となる」という祈りの答えだったのではないかと主を賛美しました。「神は孤独な者を家に住まわせ、捕らわれ人を歓喜の歌声とともに導き出される。」(詩篇 68:6) (央也)



手術を終えて

インドネシア R・K



昨年 12 月 22 日に乳がんの手術を終え、現在実家で療養しています。大きな手術の肉体的、霊的な過酷さを初めて知ることとなりましたが、それでも主の恵みは私を追う、という詩編のみ言葉は確かであることを体験しています。ハレルヤ！

先日、イザヤ書 53 章と 54 章を読んでいました。私はこの連なりにとても恵まれます。神さまの救いと契約がどのようなものなのか、私たちに対する主の愛を感じるからです。私たちは天国に凱旋する道中、様々な試練に出会います。それらは神の許しと最善の中にあって恵みとされていきますが、肉の弱さを持った私たちは誘惑に会い、罪を犯し、失敗をし、また悲しみや失望を味わい、もはや神の御心を歩むことができないのでは、と考えてしまいます。しかし、この 53、54 章のみ言葉によれば、主は人間の罪と弱さを極みまで知り、私たちの救

いのために御子イエスをくださり、さらには主ご自身が夫となる！と宣言されたのです。神の契約は不変です。私たちはどんなに自分が虫けらのように弱く思っても、この主にすでに贖われた者なのです。

主は言われます。「あなたの天幕に場所を広く取り、あなたの住まいの幕を広げ、惜しまず綱を伸ばし、杭を堅く打て。あなたは右に左に増え広がり、あなたの子孫は諸国の民の土地を継ぎ 荒れ果てた町々には再び人が住む。」(イザヤ 54:2,3) このみ言葉は、主の御心である世界宣教、主のご計画です。主が語られたみ言葉は必ず成就します。主は欠けのある器を尊んで用いてくださいます。私たちは、ありのままの姿で主に信頼し、祈り求めることと教えてくださいました。お祈りに覚えてくださる兄弟姉妹に心から感謝し、主の御名を褒めたたえます。

近況 & 祈禱課題

アルゼンチン 在原繁・津紀子

- ・「ピライ教会」に人々が導かれ、20 名礼拝を達成できるように。
- ・50% の国民が飢餓で苦しんでいます。飢餓対策事業が実を結ぶように。

国内 国際教会牧会 宇井英樹・由美

- ・東京ニューライフの歩みを主が祝福してくださるように。新しい人々が加えられるように。
- ・教会を共に建て上げていく同労者が与え

られるように。

- ・クリスマスの諸集会の来られた人たち、由美の家族や、その他届こうとしている方々への証しと、彼らの救いのため。

韓国 朴ダニエル・リム ヨンジョン

- ・ヨンジョン師が手首の手術のため、3月 23 日から 3 泊 4 日で入院します。
- ・3 月 29 日は日本ビジョン教会の創立 18 周年記念礼拝です。
- ・3 月から始めるビジネス宣教師訓練院の

JBA 第 19 期に新しい生徒たちが集まりますように。

ドイツ 井野葉由美

- ・今年ミュンヘン日本語キリスト教会に与えられたテーマは「弟子として整えられる」です。教会員がキリストの弟子となっていくように。
- ・ヨーロッパ在住の日本語を使う教職者が減っているので、外部奉仕の機会があります。ミュンヘン教会と外部奉仕のバラ



私によければ遣わして下さい



要配慮国 ちえ

「主は今生きておられる。」この賛美と共に 2025/11/27 ~ 12/24 まで短期訪問の旅に出発しました。現地から離れて3度目の短期訪問は、主が引き合わせて下さった新しい出会いが幾つもありました。長年家族のように過ごしてきた人々と初めて出会ったクリスチャンの方々が一つになって子どもクリスマス伝道集会のため祈り、準備と練習を重ねる度に主の御名によって一つにされていく人々の姿は感動的でした。主の恵みと祝福を感謝します。反面、バス待ちの停留所で見かけた一人の女性との出会いは、私にとって大切なことを思い出す出来事となりました。私には、この国に遣わされるのが決まった時から小さな願いがありました。しかし、この国を知れば知るほど、その願いはあまりにも無謀な願いのように思えました。そして時より起こってくる思いに自分で蓋をしていたように思い

ます。私は、彼女の名前も彼女がどこから来て何処に行ってしまったのかも知りません。ただわかっているのは、彼女が恐れたような悲しい目をしていた事と少しの手荷物が入ったナイロン袋を地面に置いて停留所の大きな広告看板に登って行く姿を飛び乗ったバスの車窓から見ただけでした。何日もそのバス停で彼女の姿を探しましたが、再び出会うことは叶いませんでした。今思えば彼女は、もしかしたら人目を避けて昼間のうちに看板の中で眠っていたのかも知れません。この国では、身寄りのない若い女性の立場は非常に弱く犯罪に巻き込まれることも少なくはありません。彼女に目を注ぎ招いておられるイエス様に彼女が出会い救われますように。私も心の蓋を取り退けて、もう一度祈ります。最も弱い人々の下へ遣わして下さい。



未伝部族伝道は個人伝道から



要配慮国 みか

ヨハネの福音書の有名な「サマリヤの女性」の話では、イエス様が当時付き合いのなかったサマリヤ人にも福音を伝えるために、あえてそこを通られ、井戸で休まれ、そこでサマリヤの女性と会われました。彼女の証によって多くの人がイエス様の元に導かれてきましたが、最終的には「もう私たちは、あなたが話したことによって信じているのではありません。自分で聞いて、この方がほんとうに世の救い主だと知っているのです」と人々が告白するまでになりました。(ヨハネ 4:42)

未伝部族伝道を進める時に、基本的に個人伝道が大きな鍵になります。彼らのコミュニティの中に入っていくためにサマリヤの女性のような「平安の子」(ルカ 10:6) と出会えるように主に祈り求めます。ここが思うより難しく、多くの同労者が主に祈り求めているところです。

さて昨年、一人の女子生徒が卒業しました。敬虔に彼らの部族の宗教を信じていましたが、私がイエス様の話をすると耳を傾けてくれました。彼女が就職で遠く離れた島に行くことになり、その挨拶に来てくれた時、私は「主よ、このまま彼女と遠く離れてしまうのは嫌です。どうぞイエス様を信じるように、時間をください!」と祈りました・・・長い話を短くしますと、なんとその晩、彼女はデング熱にかかり、私の家で3泊しました。奇跡を願ってイエス様の名前で何度も祈りましたが(奇跡を体験すれば彼女がすぐに信じるかも?と思ひ)、それは叶いませんでした。そして彼女は旅立ったのですが、なんと不思議なことに、数ヶ月後、主は彼女を送り返して下さったのです。(1年ほどこちらで働く予定) 今、週に一度彼女と会い、交わりを続けています。彼女の救いのためにお祈りください。

ンスを取れるように。。

- ・オスロ JCF の顧問牧師も継続しています。オスロ JCF の今後の歩みのために。

北フランス 宮坂鉄也・ジャンネメ

- ・教会形成の中で、派手ではない「忠実な僕」としての弟子が成長するように。(特に若い世代)
- ・この霊的不毛の地で、サッカーのコーチとして、まずは地の塩、世の光となれるように。

- ・思春期の子どもが二人不登校になってしまっている教会の執事と奥さん、そして彼らの子どものために。主から必要な知恵、助け手が与えられるように。

ベルギー 川上寧・真咲

- ・英語バイブルスタディの活動がさらに用いられ、祝されますように。
- ・オンライン子どもの聖書の会が祝され、より多くの子どもたちに福音を届けることができますように。

- ・経済的な必要が満たされ、また支援会を立ち上げることができますように。
- ・真咲宣教師の一時帰国(5月半ば以降)とそれに伴うデピュテーションが祝されますように。

夢とロマンの地へ



モンテカルロ教会の献堂式

総主事 大田裕作

昨年12月3日から約1か月、在原宣教師夫妻を問安し、38年に及ぶアルゼンチン宣教の足跡を共に巡察した。入国当初は日系人伝道に注力するも、移民二世が現地化していく中「この働きは5年、長くて10年」と判断。その後の交わりは継続しながらも、徐々に宣教の軸足はア国現地教会の開拓支援に。以来献身者候補を発掘し神学校へ送り、卒業後はともに開拓地を祈り土地を購入し、伝道の手ほどきをし、彼らの霊的・実際の生活の指導と援助、会堂建設へと積極的に関わり、今日に至っている。

ア国の宣教の前進

UA教団の開拓熱、精力的前進には刮目させられる。首都ブエノスアイレスで燃え上がったリバイバルの炎が数年を経てミシオネス州にも波及。1990年当時、州内に7つだった同教団の教会が、現在では174教会を数える。その契機はグランハ

キャンプ場での聖霊の注ぎ。説教者が講壇に立つ前に濃厚な聖霊の臨在で罪を悔い改める人、泣き崩れる人、賛美が溢れる人。在原家の長女ルツ姉もその時献身に導かれ、現在牧師夫人として仕えておられる。私たちはキャンプ場の庭で日本にも同様の注ぎをと、しばし祈りの時を持った。

気骨溢れる開拓スピリット

この地の開拓は基本的に自給伝道。母教会からの定期、定額的なサポートは初めから期待しない。福音に応答して人生を捧げた器たちは、聖霊に導かれ遅く前進する。副業として建築作業、農作業、学校の教師、中には最下層の仕事である土葬のための墓掘りまでこなしながら開拓期を乗り切った器にも出会った。生涯兼業しながら牧会していくことを選ぶ器もいる。その骨太さ、気骨、面構えはどうか。無論日本との経済文化の差異はある。しかし主の召命の原点は主と福音のために、いのちを代価として応答すべきことが基準であるはずだ。これは今日も緩めてはならない不変の真理だ。無限に広がる宣教の原野に出ていく伝道者たちには、未知の人々の中に臆せず入っていく開拓魂、多少の貧しさを苦にしない楽天性、み言葉に聞き従う柔軟性、聖霊の声に従える聴従性が肝要に思われる。何より彼らの中には福音の喜びがほとばしっている。

まとめ

宣教師の卒業式は現地教会の自律的前進の日である。宣教師の難しさは、宣教地の実情を十分に洞察して、現地リーダーの主体性を重んじつつ、その自立心を損なわないように留意しながら、知恵深く忍耐強い援助をすることである。師はそのように人を育て、十指に余る教会を建てあげてこられた。

イギリス 相馬裕美

- ・4月の留学生キャンプにたくさんの留学生が参加してくれるように。
- ・ミニストリーのための家が教会の近くに与えられるように。教会での購入を検討しています。
- ・働く環境を変えてもらうことを団体にお願ひしています。最善の環境で働くことができるように。

韓国 長澤久美子

- ・教会のジョン執事の手術が成功するように。(肝臓・心臓)
- ・チェ姉妹が教会に来ることを妨げるご主人から解放され、教会に来られるように。
- ・三男のヨハン師夫妻の日本宣教が6月から始まるので、祝福されますように。

インドネシア 今西勇太・茉莉

- ・2月に行われたリーダーシップ・トレーニングの参加者が祝福され、さらに学び

を深められるように。

- ・フェガ兄、アンディ兄、ギラン兄、グスティ兄への毎週の聖書の学びが祝福され、主との関係が深められるように。

インドネシア 浅井俊貴・ひかり

- ・同僚の韓国人宣教師を通じて知り合った日本人女性、Sさんとひかり師のバイブルスタディが祝福され、信仰に導かれますように。
- ・母教会にできた支える会のメンバーとよ



感謝と共に歩む次なる一歩 ～退会のご報告と今後のビジョン～



岡本 告・涼子

皆様、いつも温かいお祈りと尊いご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は私たちにとって「メディア宣教元年」と呼ぶべき、忘れられない一年となりました。YouTube や TikTok での動画公開を本格的に開始し、200 本以上の動画を通じて多くの方々と繋がることができました。クリスチャンの方々の悩みに寄り添い共に祈る機会や、まだ信仰をお持ちでない方、さらには「異端」とされるグループに属する方々からの切実な質問にお答える機会も与えられました。一つひとつの交流の中に神様の豊かな恵みを実感し、祈り支えてくださる皆様に改めて感謝します。

昨年の活動を通じて、二つの大きな気づきがありました。①キリスト教に関心を持つ方は、想像以上に多いこと。②しかし、

実際の教えを正しく知る機会が少なく、福音の核がまだ届いていないこと。人々の疑問に聖書の視点で答え、福音を届けていく重要性は、かつてないほど高まっていると確信しています。メディア宣教 2 年目となる 2026 年は、さらにこの使命に励んでまいります。また、海外邦人宣教についても、引き続き主の御心とベストなタイミングを祈り求めていく所存ですので、今後ともお祈りの中で覚えていただければ幸いです。

私たちを宣教師として受け入れ、これまで霊的にサポートしてくださったアンテオケ宣教会に心から感謝いたします。現在の私たちの状況を鑑み、祈りの中で、退会することが主の御心であると判断いたしました。アンテオケ宣教会が今後ますます祝福され、主イエス様の大宣教命令が前進いたしますようお祈りします。



主に感謝せよ。その恵みはとこしえまで。



要配慮国 神戸希望

選挙前の緊張感の中、1 年のビザが取得できました。お祈りに感謝します。不思議な導きでクリスチャンの P さんの学校で日本語教師の仕事が与えられました。この国の若者の多くは外国に働きに行きます。彼らが救われますように。奥地伝道旅行でも校長をしている友人の学校で 10 クラスの授業をしました。年始は R 牧師の提案で山の有名な寺で執り成しに同行しました。「感謝、喜び、賛美」と示され（歴代誌第二 20:21-22）戦いの武器だと受け取りました。10 年前、大きな偶像に囲まれた中央で平安、喜びで満たされ賛美礼拝している夢が再び蘇り、喜んで寺で祈れました。初めて現地語で奉仕をした教会でクリスマスを祝いました。再会した婦人たちと祝会の準備をしながらの交わり、フェイスマスクでホームエステの時間はとても喜んでくれました。お祈り下さった TC 族 A 牧師夫

妻、R 牧師の教会で御言葉の奉仕と彼らの踊りで再会を喜びました。ミシンでビジネス訓練を始めていました。教会が主体となって地域に祝福が流れるように、私も協力する道が開かれるように。更に奥地では TC 族土着の偶像が各家庭にあり、教会員も悪霊に悩んでいて、牧師夫妻やリーダーと家々を回りました。祈りの応答であるチームが与えられ感謝です。村は識字率が低く、聞くことはできますが、読めません。彼らが御言葉の告白ができるように。幾つかの婦人集会では「キリストの花嫁、御国のプリンセス」のテーマで分かち合い祈りました。強い差別の中にいる女性たちが、愛される尊い存在として主に近づき、癒されるように。共に働く宣教師のチームが与えられるようお祈り下さい。私事です左肩腕が痛くて上がりません。癒やされるようお祈りください。

近況 & 祈禱課題

・コミュニケーションをとり、世界宣教のために共に歩んでいくことができるように。

・4月に予定している王先生との結婚が祝福されますように。

インドネシア 渡部 暉

- ・インドネシアでの宣教を再開するにあたり、よく準備をし、現地での生活に慣れていくことができるように。
- ・チカラン JCF 礼拝に主の恵みと癒し、回復があるように。メンバーが心をひとつにすることができるように。

近況 & 祈禱課題

タイ 新納真司・玉皇

- ・ 昨年の無料英会話とクリスマス礼拝に来られた方々から求道者が与えられるように。
- ・ 2月からの一時帰国が祝され、留守中の講壇が代行してくださる先生によって守られますように。

台湾 高井ハラー由紀

- ・ 台南神学院図書館のプロジェクトのために献金が与えられたことに感謝。

- ・ 長男の日本でのインターンシップと一人暮らしが守られるように。次男がアメリカで大学近くの教会につながるように。由紀の高齢の父が救われるように。
- ・ アメリカ人のC姉妹が毎週教会に来られるように。求道者Hさんが導かれるように。

モンゴル 高橋真一・千恵美

- ・ 7月に予定している、医療従事者によるモンゴルアウトリーチの準備のために。

- ・ 真一師の母（86歳）がモンゴル行きを希望している。計画実現のため、ふさわしい助け手が備えられるように。
- ・ ベルチュールハウスの建設のため、経済が満たされるように。

タンザニア・日本ベース

安川圭吾・美穂

- ・ インド系教会のハニット牧師のビジネス継続に主の特別なお取り扱いがあるように。



語学学校の授業の中で

要配慮国 戸山大地



半年間続いた語学の学びを祝福の中で終わることができました。1つことばを覚えては、1つ忘れて…。最も苦戦したのは、読み書き。文字ではなく、線か記号にしか見えないI語アルファベットを毎日、ひたすら書いては読み、書いては読み。おかげで最後は「もう読み書きはしなくていい」とまで…。

私が行った語学学校では、英語クラスは人気でしたが、I国語は人気がありませんでした。最初は私を含め数人のクラスメイトがいましたが、残り5カ月はS先生とマンツーマンの授業でした。語学の授業は、毎回、彼らの神と宗教の話に…。ある日は聖典について、ある日は彼らのお祭について、また別の日はI教の神々について。S先生は、自分たちの神々を誇りだと話し、毎月曜日は祈るために断食をしているほど熱心に信じるI教徒の方でした。

クラスが終盤に入った頃、S先生がはじめて自分のカーストが高位であることを教えてくれました。(I国ではみな、収入など聞かれたくないことを普通に質問してきますが、カーストに関してはタブーです)そして、はじめて高位カーストがゆえに、I教徒として自由に結婚や仕事ができない葛藤と苦しみを話してくださったのです。その日から、I教の話から、「キリスト教はどうなの?」と聞かれはじめ、聖書やまことの神様、死と復活について話すことができました。主が種蒔く者として用いてくださったことに感謝します。

I国では、貧しい人たちがたくさん救われている一方、中・高カーストの人々が福音から取り残されている現実があります。すべての人に福音が伝えられることを今日も祈ります!

サマリヤを通らなければならなかった

スウェーデン派遣 Y・I



派遣されてから半年が経ち、白夜の夏から暗くて寒い冬になりました。まだまだ氷点下の気温が続きますが、近頃は陽が延びてきて嬉しい限りです。宣教師としての一年目、文化適応と言語習得、宣教対象の研究に日々奮闘中です。

今回は、スウェーデンにある移民難民が集まる居住区について少し紹介します。この数ヶ月、そのような地域を5か所ほど訪問しました。どの地域にも「セントラム」という中心エリアがあり、建物に入るとスパイスやドライフルーツの香りがします。中東・アフリカ系の食材店には、牛の舌や臓器、頭などが並び、私はいつも「牛タン食べたいなあ」と思い眺めていますが、一緒に行くスウェーデン人にはギョッとされています。カフェやモスクもあって「移民難民が根を下ろして暮らしている」雰囲気です。居住区周辺(一本道を挟んだ向かい側)には

スウェーデン人も多く暮らしていますが、互いに関わることは殆どありません。派遣された翌日、一つの居住区を早速訪問しました。歩きながら、ヨハネ4章4節の「サマリヤを通らなければならなかった」という言葉が思い出されました。この一文の中にイエス様の深い憐みと愛、すべての民族に福音を伝えたいという切なる思いが伝わってくるようでした。軽蔑されている、誰も立ち入ろうとさえしなかった地にわざわざ入られたイエス様。一人の女性と出会い、彼女の証によってさらに多くの人々が主を信じました。もしイエス様が他の人々がするようにサマリヤを避けたなら、この色づいた収穫の畑に出会うことはなかったでしょう。私にとっては、この移民難民の居住区がその畑です。「まだ4カ月ある」と言わず、主の導きに従い仕えていきたいと思えます。

- ・インド系教会のナレシュ兄の信仰回復、身体の癒しのために。
- ・オンラインでのミニストリーを始めることができるように。
- ・ミッションハウスを通して Good News を世界中に届けることができるように。

インフォメーション

献金芳名リスト・教会および団体 (10月~12月)

旭川めぐみ アルゼンチン宣教を支える会 (4) IGA 上野海外宣教 石坂師を支える会 (3) 一麦東京 井野師を支える会 (2) インドネシア福音 (2) 宇井氏を支える会 (3) 浦和福音 (2) 大磯キリスト (3) 大野キリスト 貝塚聖書香登 片柳福音自由 (4) カナン・プレイズ・チャーチ 可児福音 (2) 玉村福音 垂水 タン見めぐみ 京都シオンの丘 (2) 清瀬福音自由キリストの栄光 久遠キリスト 久米麗を支える会 (3) 神戸キリスト栄光 神戸希望を支える会 (3) 郡山キリスト (4) 高知ペンテコステ 国際キリスト者同盟 さんだグレイスチャペル シャローム社 鈴鹿キリスト福音 (3) 西武柳沢 泉南福音 高橋央也・恵と共に歩む会 (3) 高松シオン (3) 玉村福音 垂水 タンザニアミッション (3) 千代田福音 都賀キリスト 土崎グローリア (2) 東米福音 東京若枝 (3) 戸山大地を支える会 (3) 名古屋一麦 (3) 奈良福音 (3) 新居浜キリスト 虹ヶ丘キリスト 西宮福音 日本イエス教団事務所 (3) 平塚福音 プラトナの会 (3) 朴師を支える会 (3) 本郷台キリスト (3) 松見ヶ丘 前橋キリスト 丸亀聖書 三島真光 未伝地ミッションを支える会 (3) 南仙台 モンゴルミッションジャパン (2) 八尾福音 八尾福音北九州チャペル 山形響者キリスト 大和カルバリー (3) ライフリバーチャーチ浜北 渡部淳を支える会 (3) 匿名 (1)

献金芳名リスト・個人

相田朝美 阿部克己 浅井俊貴・ひかり 東静 (3) 安海靖郎・通子 新江雅宏・裕子 一筋真理子 稲垣博史 井野葉由美 岩井輝子 (2) 岩井清 (2) 岩井虔 宇井英樹・由美 (3) 内村郷美 内山義彦・和子 大上仁 オードネイ礼 大橋祐星 (3) 岡崎修市 岡本告・涼子 小山田格 甲斐博 (3) 川上寧・真咲 (2) 木下順子 Kim Minseok (3) 栗山伸子 河野みどり 近藤美貴子 鮫島紘一 澤田大明 下野淑子 下村明矢 小路伸夫 (2) 島谷みどり (2) 城山直子 高井由紀・ダニエル (3) 高村昌昭 (3) タテイシアツコ 千金町子 (2) 坪内喜代子 トール彩実 (3) 徳梅陽介 名嘉博光 永田令 西鳥巨・結衣 服部敬子 馬場昭・喜久美 林正敏 福澤満雄・圭子 福本和代 星出卓也・薫 (3) ホンダヨシフミ 前田秀文・庸子 三浦岸雄 (3) 水谷陽子 宮川淳子 宮川和彦 宮坂玲子 目黒グレース 森川桂造 山崎恵子 山下祐弘 (3) 渡邊史郎・尚江 匿名 (17) (教会・団体・個人 計 237 件)

事務局からのお願い

ご献金のお振込みには、所定の赤色の払込取扱票か、「ゆうちょダイレクト」をご利用ください。

アンテオケ宣教会の口座情報

●ゆうちょ銀行

00170 - 4 - 10379

●三菱UFJ銀行

池袋東口支店 (普通) 1068695

オンライン献金

利便性のために、これまでの献金あて先の他に、オンライン献金を始めました。ご利用いただける方は、こちらのQRコードからご利用ください。



アンテオケ・デーとどこでも出張

今回はアンテオケ宣教会の働きの中で二つのことを紹介いたします。

一つ目はアンテオケ・デーです。これは国内の諸教会にアンテオケのことを知っていただくこと、2023年から始めた取り組みです。初年度以降の実施教会数は、5、17、6となっております。実施方法としては、アンテオケの宣教師 (現役またはOB)、理事主事、宣教センタースタッフのいずれかが皆様の教会にお伺いし、直接アピールをさせていただく方法、または遠隔地やその他の理由で直接お伺いすることが難しい場合、こちらで作成したPR動画を教会で視聴していただく方法があります。実施時期は年間を通していつでも結構ですが、毎年5月と6月を強化月間として集中的に実施をお願いしておりますので、ぜひ積極的に取り組んでいただければ感謝です。

そして二つ目はどこでも出張です。これはその名の通り、皆様方の教会からご要請があれば北海道から沖縄までどこへでも参ります。過去においては、海外宣教について知りたかったので講師を派遣してほしいとご要請をいただきました。交通費などの経費はアンテオケ宣教会が負担しますのでご心配なく。海外宣教に関するさまざまな質問・疑問、また海外に宣教師を派遣しようとお考えの教会、さらには宣教師がどのような活動をしているか知りたいというご希望があれば、ぜひお気軽にお声がけください。皆様からのご連絡を心からお待ちしております。

高山嘉津子事務局長へのサポート献金の感謝

前回ニュース (252号) にて皆様へお願いした高山嘉津子事務局長へのサポート献金につきましては、当初目標としておりました金額を超えるご献金が寄せられましたので、ここにお礼ならびにご報告いたします。皆様方の温かいお志に心より感謝いたします。なお、いまだ意識が戻らない状況にありますので、引き続きお祈りに覚えていただければ幸いです。



アンテオケ宣教会

〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル 203 号
TEL : 03-5577-7035 E-mail : jimukyoku@jantiochm1977.net
ウェブサイト jantiochm1977.net 郵便振替 00170-4-10379



公式サイト
& SNS

